

Snow Resort Symposium 2023

第2回

スノーリゾートシンポジウム

スキー場からスノーリゾート、そしてマウンテンリゾートへ

— 非日常的時間空間の提供を目指して —

昨年2022年10月に開催されたシンポジウムは業界初となる関係者のためのオンラインシンポジウムとして

全国の多くの関係者にご参加いただきました。本年度も観光庁からもご参加いただき、

今後のインバウンド受入やスノーリゾートが今後目指す方向性などの課題をテーマに関係者と共に考えていきたいと思っております。

特に気候変動によるグリーンシーズンの活用は目指すべき大きな方向であり、すでに取り組んでいる

事例の紹介や課題の提示などを通して、地域の参考にしていただければと考えます。

今後地域としてのブランド化を目指すとともに、埋もれた資源の再発見などを通して大自然に囲まれた非日常的な時間、空間を如何に提供して行くことができるか、関係各位の積極的なオンラインでのご参加、ご視聴登録をお待ちしています。

コーディネーター

一般社団法人 日本スノースポーツ&リゾート協議会 参与
山田 桂一郎 氏

JTIC.SWISS 代表 観光カリスマ百選(内閣府、国土交通省、農林水産省認定) 総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房地位活性化伝道師、内閣官房クールジャパンプロデューサー、環境省環境カウンセラー、北海道大学客員教授、和歌山大学客員教授、奈良県立大学客員教授 他役職多数

来賓ご挨拶

観光庁観光地域振興部長
中村 広樹 氏

平成4年3月京都大学法学部卒業。
平成4年4月運輸省(現国土交通省)入省。
平成13年7月帯広市商工観光部参事、平成25年7月近畿運輸局企画観光部長、令和2年7月総合政策局交通政策課長、令和3年7月関東運輸局長次長などを歴任し、令和4年10月より現職。

ご登壇者 (50音順)



観光庁観光地域振興課長
安部 勝也 氏

東京工業大学土木工学科飛級、同大学院修士課程修了。
米国メリーランド州立大学博士課程修了。
平成7年建設省入省。平成21年より世界銀行勤務。
帰国後、福島河川国道事務所長、建設業課企画官、道路局ITS推進室長等を歴任し、令和2年より和歌山県県土整備部長、令和4年より九州地方整備局道路部長。令和5年7月より現職。



ニセコ 町長
片山 健也 氏

1953年北海道生まれ。1975年東洋大学法学部卒業、民間会社を経て、1978年よりニセコ町役場勤務。町民総合窓口課長、総務課参事、会計管理者、教育委員会学校教育課長等を歴任し、2009年10月ニセコ町長に就任し、現在4期目。全国首長連携交流会共同代表、水資源保全全国自治体連絡会副会長、国民保養温泉地協議会会長、世界首長誓約日本委員長代理、後志広域連合長、羊蹄山麓町村長協会 会長などを務める。



KPMG FAS Co., Ltd. 執行役員
矢野 幸一郎 氏

1968年生まれ。東京大学法学部を卒業後、旧日本長期信用銀行に入行。その後米 New York 大学法律大学院で比較法修士号を取得。外資系投資銀行各社を経て2019年 KPMG FAS に入社、M&A アドバイザリー業務を担当。米 New York 州弁護士。国内外でのスキー歴 45 年。



岩岳リゾート 社長
和田 寛 氏

1976年生まれ。東京大学法学部を卒業後、農林水産省に入省。その後米国Duke大学でMBAを取得し、外資系戦略コンサルティングファーム「ペイン・アンド・カンパニー」に転職。2014年「白馬観光開発」の親会社である「日本スキー場開発」に入社。2017年より白馬観光開発株式会社の代表。2020年10月に株式会社岩岳リゾートの代表に就任。著書に「スキー場は夏に儲ける!誰も気づいていない「運転ヒット」の法則」(東洋経済 新報社)がある。

2023年10月2日(月) 午後14:00 開会

登壇者は東京にご参集いただき都内スタジオで収録いたします。

同時オンライン開催 参加無料

※参加、視聴には簡単にご登録が必要です。

ご登録

右のQRコードまたは下記のURLよりご登録をお願い申し上げます。

ご登録は下記の協議会HPからお願いします。

<https://snow.or.jp> (開催日までにURLをお送りいたします。)



お問合せ先: 一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会事務局 [contact@snow.or.jp]

主催: 一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会



SNOW SPORTS & RESORTS CONFERENCE

一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会